

平成28年度

高校生建築デザイン コンクール

課題 / 「高等学校の農業実習管理棟」



ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2016

はじめに

公共建築物は、行政や教育・文化、医療・福祉、研究など、さまざまな分野で、地域の産業や人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化や道民生活の向上、気候風土等と調和した魅力あるまちづくりを推進する上で重要な役割を果たしています。

道では、道内の建築を志す高校生の勉学の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成を図るとともに、道民に愛され親しまれる施設整備を進めるため、道内の建築系学科に在籍する高校生を対象に、夢のあるユニークなデザインを募集する「高校生建築デザインコンクール」を平成8年度から実施しています。

平成12年度からは、公益社団法人日本建築家協会北海道支部、一般社団法人北海道建築士事務所協会、一般社団法人北海道建築士会との共催事業となり、今回で21回目の開催となります。

今年度は、北海道の基幹産業である第一次産業の教育施設として、北海道美幌高等学校に整備を予定している「農業実習管理棟」を設計課題として募集したところ、6校142人から86作品の応募がありました。

施設の利用計画としては、農業実習室を実習で生産した野菜や加工品を販売する際の販売会スペースとしても使用できる工夫や、隣接する畑・ビニールハウスなどの実習地との外部動線に配慮することなど、建物をデザインするうえで、難しい課題ではありましたが、高校生らしい創造性にあふれたレベルの高い作品が多く寄せられました。

応募された皆様には、心からお礼申し上げます。

厳正な審査を経て、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作4作品、特別賞2作品が選定されました。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。このコンクールに参加した皆様が公共建築物について考え、そして学んだ経験は、今後建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になるものと期待しています。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校でご指導いただきました先生方をはじめ、関係機関の皆様には多大なご協力を賜り厚くお礼申し上げますとともに、ご応募いただいた高校生の皆様には、今後も専門の勉強に励まれ、将来社会でご活躍されることを心からお祈り申し上げます。

平成28年12月

北海道建設部建築企画監 **須田 敏則**

平成28年度 高校生建築デザインコンクールの実施概要

道民に愛され親しまれる公共建築物づくりを進めるため、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

このコンクールは、次世代を担う建築技術者となる道内の高等学校（建築系学科）に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

最優秀作品に選ばれた作品の提案主旨は、道において、設計に取り入れ道民に親しまれる施設となるよう建設を進めていきます。

- 1 課題 「高等学校の農業実習管理棟」
農業科の生徒が農業実習授業で使用する農業実習室と実習地（畑・ビニールハウス）で使用する農具、肥料等を保管する「農業実習管理棟」を設計してください。
農業実習室は、実習で生産した野菜等を地域住民に販売する際の販売会スペースとしても利用できるように設計してください。
- 2 応募資格 道内高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ
- 3 提出図面 JIS規格A2判(420mm×594mm)横置き1枚片面に下記の全ての図面を描く
 - ① 作品タイトル
 - ② 設計主旨
 - ③ 配置図・平面図 1/100～1/150
 - ④ 断面図 1/50～1/100
 - ⑤ 立面図 1/50～1/100
 - ⑥ スケッチ
 - ⑦ 面積表
- 4 応募作品 142名から86作品の応募
- 5 入選作品 最優秀作品1作品 ・ 優秀作品3作品 ・ 佳作4作品 ・ 特別賞2作品
- 6 経過 募集要項配付 平成28年6月17日
作品受付 平成28年8月22日から平成28年9月2日まで
選定委員会 平成28年9月9日
作品展(予定) 平成29年1月12日から平成29年1月13日まで
- 7 選定委員 十河昌司 (公益社団法人日本建築家協会北海道支部 教育委員会教育長)
重網博美 (一般社団法人北海道建築士事務所協会 業務・技術委員会担当副会長)
針ヶ谷拓己 (一般社団法人北海道建築士会 常務理事・まちづくり委員長)
加賀学 (北海道教育庁総務政策局施設課長)
河原範毅 (北海道教育庁学校教育局高校教育課長)
小見研一 (北海道建設部建築局建築整備課長)



審査総評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の建築系学科の高等学校に在籍する生徒の皆様から、道が整備する公共建築物のデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するとともに優れた作品を表彰しているものです。今年度も、多くの関係者に支えられて、高校生建築デザインコンクールを盛会に進めることができました。

選定委員を代表して、関係者の皆様にお礼を申し上げます。

今年度の課題は、オホーツク管内美幌町の北海道美幌高等学校に整備予定の「高等学校の農業実習管理棟」を設計課題としました。農業実習管理棟は、農業科の生徒が農業関係科目の座学を行う教室として使用するほか、実習で生産した野菜等を地域住民に販売する際の販売会スペースとしても使用できるよう配慮が必要となります。

応募された皆様は、自分たちと同年代の高校生が農業の専門的な技術や知識を身につけるために、どのように施設を使うのか、どうしたら使い易いようになるかなどを考え、デザインされたことと思います。

今回、応募があった数多くの作品は、それぞれによく工夫されており、将来の産業の担い手という同じ志を持つ高校生への思いが伝わってきて大変嬉しく思いました。

応募のあった作品については、「高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか」「設計のコンセプトやデザインに魅力があるか」「立地条件を活かしているか」「実施設計に反映させ得るデザインであるか」といった観点から厳正に審査を行い、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、佳作4作品、特別賞2作品を選定いたしました。

このほか、惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい創造性に溢れたデザイン提案が数多くありました。

今回、ご応募いただきました皆様のこれからの社会でのご活躍をお祈りし、審査総評とさせていただきます。

平成28年度高校生建築デザインコンクール選定委員会
委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 小見 研一

平成28年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

最優秀作品賞 (1作品)

三浦 和寧 (北海道函館工業高等学校 3年)

佳 作 (4作品)

若山 優奈 (北海道函館工業高等学校 3年)

丸川 翔大 (北海道小樽工業高等学校 3年)

堀川 悠貴 (北海道小樽工業高等学校 3年)

優 秀 作 品 賞 (3作品)

皆川 七星 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)

泉 陽子 (北海道函館工業高等学校 2年)

横内 美紀 (北海道函館工業高等学校 2年)

米田 圭杜 (北海道函館工業高等学校 2年)

千葉 恭弥 (北海道苫小牧工業高等学校 定時制 4年)

特 別 賞 (2作品)

伊藤 健太 (北海道小樽工業高等学校 3年)

濱田 尚哉 (北海道小樽工業高等学校 3年)

佐藤 颯斗 (北海道苫小牧工業高等学校 定時制 1年)

清水 広行 (北海道苫小牧工業高等学校 定時制 1年)

入賞作品



最優秀作品賞

北海道函館工業高等学校
三浦 和寧 (3年)



作品名 「しら樺館」

設計趣旨

私は農業実習管理棟を設計するにあたって「元からある街の雰囲気・自然環境に馴染む建物」をテーマとして位置づけました。外観は、サイロをイメージした玄関や正面の柱、西側の壁面緑化などで懐かしい雰囲気と美幌町の大自然を表現しました。建物内は各空間で無駄のない動線計画を心がけ、即売会の際の教員・生徒と町民の方の利用しやすさを考えテラスを設けました。

この「しら樺館」が、オホーツクの農業を担い、自然を大切にする生徒を育て、今後何十年も多くの方々に愛されることを願っています。

審査講評

「白樺」をモチーフにした内容は好感が持て、生徒に親しみを持たれるデザインである。共用部と管理部が中間に配置され、その左右に農業実習室と農具庫が明快に配置された、すっきりとまとまった平面計画が秀逸で、コンセプト、プラン、デザイン、表現力など総合的に優れた提案であることが特に高く評価された作品である。



優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校
皆川 七星 (3年)



作品名 「 ανέμος (アネモス) 」



設計趣旨

農業からのイメージ、赤い色のかまぼこ屋根、立ち並ぶ防風林、さわやかに通りぬける風、収穫された果実、このイメージをデザインに取り込みました。

ゆるやかに流れるように弧を描き連なったR屋根。構造体である鉄骨は立ち並ぶ防風林。幹であり根を表現し、鉄骨をくり抜いた丸い穴は、鉄に軽さをもたせ、木々を通りぬける風や収穫された果実を表現しています。

外壁には人工物の鉄・ガラスと自然物の木材を対比させ、下見板張りした外観の一部は、新しさの中にどこか懐かしさを覚える外観としました。また、ランダムに区切られた実習室の窓は木の枝々を表し、そこを通る光は木漏れ日のように室内に差し込みます。また、屋根が掛かった内と外を柔らかくつなぐ人がたまる空間を設け、収穫祭での販売スペース等に利用でき、夏の日の木陰として、また、雨よけなど、快適にこの空間で過ごしてくれればと願っています。



審査講評

外部通路とテラスを上手に設け、農具庫と教室群を分離した計画がユニークである。立面がきれいでインパクトがあり、構造体でデザインしたところが評価された作品である。



優秀作品賞

北海道函館工業高等学校
横内 美紀 (2年)



作品名 「 はっばの実習棟 」



設計趣旨

はっばをモチーフにして考えました。屋根がはっばの形になっていて、側面からは美しい曲線の形で見えます。

玄関は2つあって、校舎から来るなら西側から、農業地から来るなら東側から入ると楽です。トイレは玄関の近くにあって、実習地で活動している生徒も利用しやすくなっています。実習室には外から直接入れる出入り口を設けました。販売の際などに使えます。農具庫にはシャッターを設けました。物をまとめて出し入れする時などに便利です。シャッターの正面には水道があるので、野菜を持ってきて、洗って、冷蔵庫に入れる一連の流れがスムーズにできます。

授業がちょっと楽しみになるような、そんな実習管理棟になってくれるといいです。



審査講評

二方向からのアプローチとホールを中心に各室が配置され、機能的な動線を考慮するとともに、思いきったデザインを取り入れた、高校生らしい作品である点が評価された。

ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2016



優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校校定時制
千葉 恭弥 (4年)



作品名 「美幌高等学校農業実習管理棟」



設計趣旨

この農業実習棟は農業科を学ぶ生徒達が親しみを持って使ってもらい愛着を感じてもらえるような設計を考えました。建物のイメージを日々目している収穫コンテナをモチーフに、コンテナを配置し、スリット状の開口部からは柔らかな光が入ってくるよう考え、実習棟の周りに大きなテラスと広場を設けることで授業以外でも色々な催し物なども可能になるのではないかと期待しています。



審査講評

大きな屋根の下にイベント広場と建物が同居し、空間的にも楽しそうな計画であり、徹底的にシンプルを求めた平面をベースに力量を感じるデザインが評価された作品である。



佳作

北海道函館工業高等学校
若山 優奈 (3年)



作品名 「しらかばの坂」



設計趣旨

この農業実習管理棟は美幌の雄大な大自然と調和することをコンセプトとしてデザインしました。美幌高校の校色が緑、校章が白樺の若葉なので屋根全体を緑色で表現し、化粧柱として白樺を使用しました。美幌高校の生徒や職員が使いやすいよう内観にも気を配りました。動線が被らないように配慮したり、大きめの冷蔵庫や広い流し台を設置したりする工夫もしました。実習室に付属するウッドデッキをつけることで販売スペースを外にも広げ販売スペースの利便性も高めました。美幌の自然に囲まれたこの建物で生徒たちがのびのびとお互いを尊重し高めあえることを願っています。



審査講評

玄関、ホールを中心に各室が配置され平面プランがまとまっており、「しらかば」をイメージした柱が高校生らしく、創造性にあふれた発想が評価された作品である。

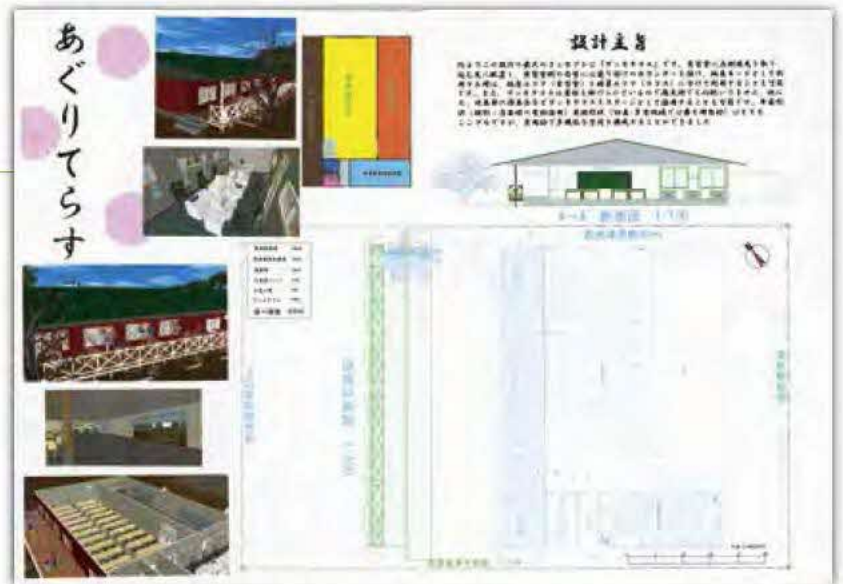


佳作

北海道小樽工業高等学校

丸川 翔大 (3年)

堀川 悠貴 (3年)



作品名 「アグリテラス」



設計趣旨

何よりこの設計の最大のコンセプトは「デッキテラス」です。実習室に左側採光を取り込む先に配置し、実習室側の内壁には造り付けのカウンターを設け、販売モードとして利用する時は、販売エリア（実習室）と購買エリア（テラス）に分けて利用することも可能です。また、テラスデッキは屋根も掛けられているので雨天時でも心配いりません。他にも、吹奏楽の演奏会などデッキテラスをステージとして活用することも可能です。平面形状（矩形：床面積の有効活用）屋根形状（切妻：多雪地域では最も理想的）はとてシンプルですが、実用的で多機能な空間を構成することができました。



審査講評

デッキテラスは実習室と一体的な利用、かつ、多目的に利用ができ好感が持てる。長方形にコンパクトにまとめられた平面プランであり、シンプルで合理的なデザインが評価された作品である。



佳作

北海道函館工業高等学校

泉 陽子 (2年)



作品名 「開放感溢れる実習棟」



設計趣旨

この実習棟は、各部屋の屋根の高さが異なり左右に傾いて雨水や雪が一箇所に集中して落ちないようにしています。廊下を建物の中央に通すことによってどの部屋にも行きやすくなりました。実習室は天井を高くすることで開放感を出しました。そして、農業実習室は育てて取れた野菜を販売するため、人が入りやすいように入り口を広くとり、より開放感が増し、また、雨の日でも来られるように入口の所に屋根を付け、客足を増やす効果が見込めます。全ての部屋に窓を多くつけ風通しを良くし、夏に少しでも暑さに耐えることができます。トイレを外からも使えるようにしました。校舎に近い方に玄関を設け、移動しやすくしました。



審査講評

校舎からの動線、野菜販売を意識した平面プランであり、機能的な平面計画が評価された作品である。



佳作

北海道函館工業高等学校
米田 圭杜 (2年)



作品名 「白 樺」



設計趣旨

この建物は美幌町の町章をモチーフに設計し町章に込められた意味と同じように美幌町や美幌高校の未来への広がりを表す円形にしました。また、美幌高校の校訓「汝自身を知れ」をもとに、自分を知り、未来をうちたてる一步になるきっかけになる建物にしました。農業実習室は窓を多くとり、明るく開放的になるようにしました。また実習で生産した野菜等の販売も行うので、お客さんが出入りしやすいようにガラス戸を2カ所設けました。農具庫は農具、肥料等を多く収納できるスペースを設けました。農具等はシャッターから楽に運べるようになっています。美幌高校の校章は白樺の若葉であることから、机などに白樺を利用しました。外にはウッドデッキを設け、美幌町の自然や地域住民と近い距離で触れ合えるようになっています。



審査講評

円形ホールを中心に各室が配置され、バランスの良い平面計画であり、設計趣旨の町章も上手く表現されていることが評価された作品である。



特別賞

北海道小樽工業高等学校
伊藤 健太 (3年)
濱田 尚哉 (3年)



作品名 「美農 : Beautiful Earth」



設計趣旨

今回の設計課題は、農業高校の実習棟と聞き、僕は自然や食材のありがたみを感じながら楽しく学べる空間を意識して設計しました。実習室には日差しをつけ、日陰を生むことにより西日を防ぎつつ、広い敷地との関連、休憩所としての活用、販売スペースとしてなど様々な役割があります。また、角を円形の開閉式の窓にし、外との関連、出入り口になります。農具庫は壁に棚を設けることで肥料などを置けます。大きな開口部を設けているので大きな器具や多人数での出入りも可能で実習地側に設けているので移動もスムーズに行えます。準備室は教材を置くだけでなく、職員室としても十分な機能出来るよう設計しました。



審査講評

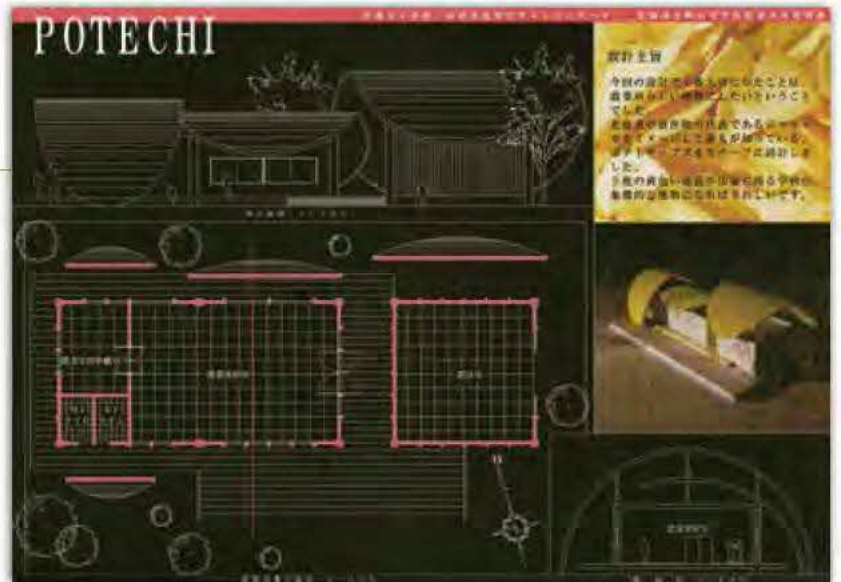
生徒の移動や実習の面から機能的な平面計画であり、四季によるテーマコメントなどプレゼン性が優れていることが評価された作品である。



特別賞

北海道苫小牧工業高等学校定時制

佐藤 輩斗 (1年)
清水 広行 (1年)



作品名 「POTECHI」

設計趣旨

今回の設計で1番大切にしたいことは、農業科らしい建物にしたいということでした。北海道の農作物の代表であるジャガイモをイメージして誰もが知っている、ポテトチップスをモチーフに設計しました。3枚の黄色い屋根が印象に残る学校の象徴的な建物になればうれしいです。

審査講評

ポテトチップスをイメージした外観は、独創的で大胆なデザインであり、高校生らしいユニークな発想が評価された作品である。

平成28年度高校生建築デザインコンクール応募者名簿

北海道函館工業高等学校

- 赤石 直士 [3年]
- 稲船 さやか [3年]
- 岩崎 優也 [3年]
- 熊谷 穂高 [3年]
- 小林 姫乃 [3年]
- 佐藤 愛希 [3年]
- 汐見 航也 [3年]
- 高橋 美憂 [3年]
- 館山 真理奈 [3年]
- 丹内 美敬 [3年]
- 中村 桃歌 [3年]
- 西本 風音 [3年]
- 畑澤 雅 [3年]
- 福井 琴音 [3年]
- 三浦 和摩 [3年]
- 吉田 雪花 [3年]
- 若山 優奈 [3年]
- 穴田 香帆 [2年]
- 泉 陽子 [2年]
- 江良 友希 [2年]
- 川崎 月 [2年]
- 工藤 由貴 [2年]
- 小林 未空 [2年]
- 佐々木 怜奈 [2年]
- 佐藤 文香 [2年]
- 菅原 安佑 [2年]
- 高橋 彩友 [2年]
- 花坂 亮太 [2年]
- 本間 悠矢 [2年]
- 松倉 綾人 [2年]
- 山田 琢流 [2年]
- 横内 美紀 [2年]
- 横内 里帆 [2年]
- 吉田 琳音 [2年]
- 米田 圭社 [2年]

北海道帯広工業高等学校

- 安田 郁人 [3年]
- 徳田 愛礼 [3年]
- 堀川 怜那 [3年]
- 3名グループ

北海道美唄尚栄高等学校

- 伊藤 毅 [3年]
- 石崎 一牙 [3年]
- 2名グループ
- 金城 玲那 [3年]
- 伊藤 瑠那 [3年]
- 2名グループ

北海道苫小牧工業高等学校

- 斉藤 終哉 [3年]
- 木村 拓海 [3年]
- 酒井帆乃花 [3年]
- 3名グループ
- 佐藤 優賢 [3年]
- 鈴木 光太 [3年]
- 高橋 宏祈 [3年]
- 3名グループ
- 内山 智仁 [3年]
- 加藤 大志 [3年]
- 長浜 星 [3年]
- 3名グループ
- 種間 悠太 [3年]
- 清水 梨加 [3年]
- 白川 達也 [3年]
- 3名グループ
- 中村 春樹 [3年]
- 沼山 大晟 [3年]
- 2名グループ
- 角道 拓 [3年]
- 上田 海斗 [3年]
- 2名グループ
- 坂本 陸 [3年]
- 勘田 光一 [3年]
- 2名グループ
- 高橋 蓮 [3年]
- 村上 璃空 [3年]
- 森 圭介 [3年]
- 3名グループ
- 向谷 俊弘 [3年]
- 相原 優樹 [3年]
- 2名グループ
- 伊藤 大輝 [3年]
- 竹本 吏佑 [3年]
- 2名グループ
- 傳甫 拓海 [3年]
- 畑田 壮吾 [3年]
- 2名グループ
- 伊藤 駿 [3年]
- 安達虎太郎 [3年]
- 新井 楓哉 [3年]
- 3名グループ
- 藤澤 優人 [3年]
- 辻 大生 [3年]
- 3名グループ
- 能勢 元樹 [3年]
- 時田 駿 [3年]
- 2名グループ
- 川田 碧生 [3年]
- 登藤 央大 [3年]
- 2名グループ
- 澤里 裕太 [3年]
- 安達 景祐 [3年]
- 皆川 七星 [3年]
- 佐川穂乃香 [3年]

北海道苫小牧工業高等学校定時制

- 千葉 恭弥 [4年]
- 佐藤 輩斗 [1年]
- 清水 広行 [1年]
- 2名グループ

北海道留萌千望高等学校

- 進藤 亨紀 [3年]
- 小林 哲春 [3年]
- 2名グループ
- 花田 梨那 [3年]

北海道小樽工業高等学校

- 丸川 翔大 [3年]
- 堀川 悠貴 [3年]
- 2名グループ
- 伊藤 健太 [3年]
- 濱田 尚哉 [3年]
- 2名グループ
- 高橋 祐也 [3年]
- 吉田 拓海 [3年]
- 佐藤 孝二 [3年]
- 3名グループ
- 天谷 櫻 [3年]
- 松村 晶 [3年]
- 鈴木 琴葉 [3年]
- 3名グループ
- 森 瑠佳 [3年]
- 藤田 結菜 [3年]
- 2名グループ
- 佐藤 純也 [3年]
- 若松 海斗 [3年]
- 3名グループ
- 吉田 将太 [3年]
- 尾崎 慶喜 [3年]
- 斉藤 誓人 [3年]
- 3名グループ
- 佐々木涼加 [3年]
- 上 千夏 [3年]
- 2名グループ
- 須藤 瑠偉 [3年]
- 荒谷 将範 [3年]
- 2名グループ
- 久原 一真 [3年]
- 田仲 令一 [3年]
- 杉山 人性 [3年]
- 北原 彩加 [3年]
- 梁瀬 りか [3年]
- 佐々木瑞月 [3年]
- 寺戸 友唯 [2年]
- 小間 拓海 [2年]
- 嶋田 優希 [2年]
- 3名グループ
- 本間 浩暉 [2年]
- 田中 蒼 [2年]
- 田中 浩堅 [2年]
- 3名グループ
- 佐々木要人 [2年]
- 佐藤 翔太 [2年]
- 鈴木 優斗 [2年]
- 本間 士温 [2年]
- 中谷 唯人 [2年]
- 山田 龍二 [2年]
- 大高 隼人 [2年]
- 木元 宥輝 [2年]
- 2名グループ
- 佐藤 晴海 [2年]
- 中村 美慧 [2年]
- 2名グループ
- 金田 優花 [2年]
- 木村 凛 [2年]
- 2名グループ
- 小熊 健太 [2年]
- 明石 涼馬 [2年]
- 2名グループ
- 山口 拓人 [2年]
- 白岩 孝汰 [2年]
- 須貝 龍哉 [2年]
- 3名グループ
- 小林 亮太 [2年]
- 小原ほのか [2年]
- 櫻井 楓 [2年]
- 3名グループ

ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2016



共催

北海道 公益社団法人日本建築家協会北海道支部

一般社団法人北海道建築士事務所協会

一般社団法人北海道建築士会

北海道建設部建築局ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kkr/>

平成28年12月